

国立公園満喫プロジェクト:世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために

「最大の魅力は自然そのもの」「高品質・高付加価値のインバウンド市場の創造」

訪日外国人の国立公園利用者数
490万人(2015年)→ 1000万人(2020年)に

ステップアッププログラムの策定

平成28年7月：世界水準の「ナショナルパーク」の候補として8公園を選定

- 阿寒 十和田八幡平 日光 伊勢志摩
- 大山隠岐 阿蘇くじゅう 霧島錦江湾 慶良間諸島

9月：地域協議会(※)において、具体的な取組を計画的、集中的に実施するステップアッププログラム策定に着手

(※)県、市町村、民間事業者等で構成



検討の加速化

- 各知事等に省幹部が直接要請
- アトキンソン氏、石井氏等有識者の現地評価

関係省庁との連携

- 関係省庁の施策メニューの提示(ビジットジャパン、街並み整備、空屋対策、Wi-Fi環境整備など)
- 関係省庁の出先機関が地域協議会に参加

12月：各公園毎にステップアッププログラム策定

- 国、県、市町村、民間事業者は、取組をそれぞれ実施。
- 進度に応じ、第2次補正予算の配分や29年度予算の配分を実施。
- 進捗状況に応じて、プログラムをグレードアップ。

8カ所の国立公園における成果を全国の国立公園に水平展開

世界水準の「ナショナルパーク」に向けたブレークスルー

上質な宿泊施設の誘致

- 日光ではラグジュアリーホテル進出に併せて幅広い層の受入環境を整備
- 民間と連携し、外国人旅行者のニーズにあったキャンプ場にリニューアル



ビジターセンター等公共施設の民間開放

- 伊勢志摩の英虞湾を望む直轄展望台を民間カフェ導入に向け整備
- 日光のビジターセンターのテラスにイス・テーブル等を設置し、H29.5月より飲食スペースとして開放。H29.6月頃より地元カフェ等による試験出店



自然の質を向上させるための新たな仕組みの導入

- 慶良間諸島で入島時の環境協力税を徴収し、国立公園の環境保全に活用
- 阿蘇くじゅうにて利用者負担による草原再生検討について地元合意



景観の磨き上げと快適な利用環境の整備

- 大山隠岐にて廃屋を撤去しつつカフェや物販機能を有する施設を整備
- 日光にて景観改善のため無電柱化を実施
- 各国立公園において、ユニバーサルデザインによる利用施設の整備の加速化



国内外への強力な情報発信

政府観光施策、地元DMO(※)、地元メディアとの連携

- Visit! Japan事業、地元DMO、地元メディア等との連携による海外広報の実施
- ※Destination Management/Marketing Organization

国立公園オフィシャルパートナープログラム

- ANA、JAL、JTB、KTCホールディングス、サントリー等の31社の賛同企業との連携協力。成田空港での国立公園動画放映など様々な情報発信を実施

公式SNSの開設

- インスタグラム及びフェイスブック公式アカウントにおいて、現地パークレンジャーから、公園の感動を発信

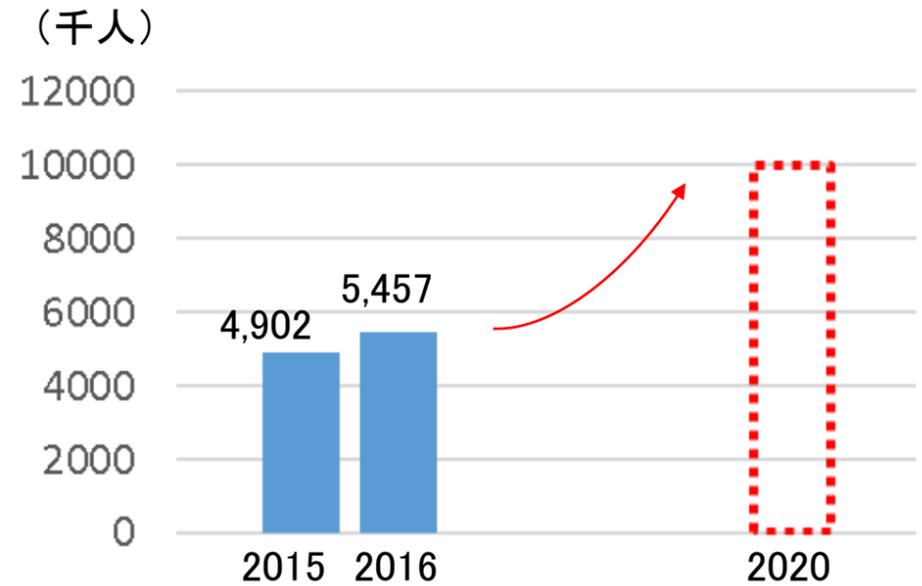


国立公園満喫プロジェクト

世界水準の「ナショナルパーク」を実現するために

訪日外国人の国立公園利用者数
490万人(2015年)→ 1000万人(2020年)に

- 選定8公園でステップアッププログラムを策定
- 民間とも連携し、国立公園全体のプロモーションを強化
- 平成28年は外国人利用者数が全体で増加



ステップアッププログラムとは

- 関係自治体、民間事業者等も含めた地域協議会の議論を踏まえて策定
- 各関係者はステップアッププログラムに基づく取組を実施

◆主な項目

広域連携

多様なサービス提供
のための民間活用

引き算の
景観改善

保全のための
仕組みづくり